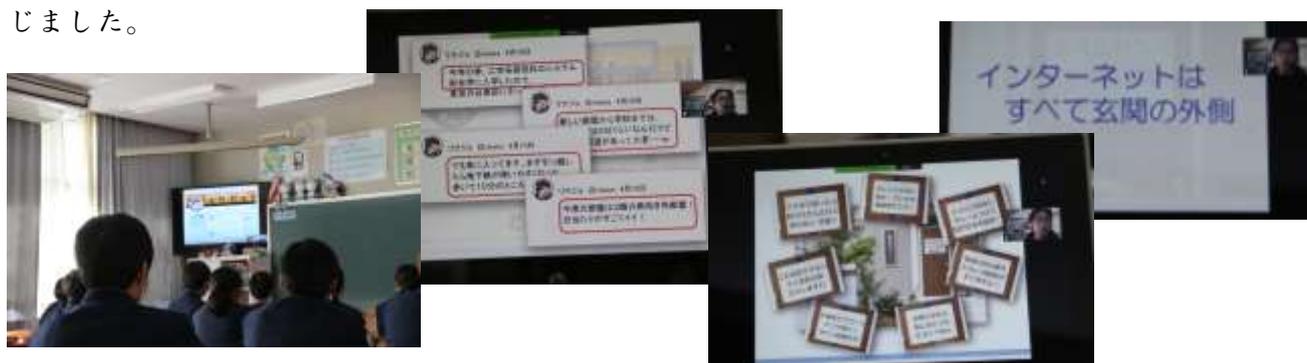




## ゲームのやり過ぎやSNSのトラブルに注意！

### ご家庭での使い方指導をお願いします！

中学生のスマートフォン所持率の高まりや、これから始まる家庭へのタブレットの持ち帰りを想定して、「情報モラル講演会」をオンラインで開催しました。全国的に有名なグリー株式会社の小木曾健氏を講師とする講演会でしたので、全校生徒だけでなく保護者の皆様にもご案内し、視聴いただきました。小木曾氏からは、「玄関に掲示できない内容はSNSに書き込んではいけない」ことや、「不用意なSNSへの書き込みで様々なトラブルに巻き込まれる」ことが、実際にあった事例をもとに話されました。印象に残ったのは、「間に5人を挟むだけで、アメリカの大統領ともつながる」という話で、実際に小木曾氏の知り合いをたどってバイデン大統領につながりました。つまり、「あなただけに教える」と話した内容でも、聞いた人が「あなただけに教える」と伝えていたら、たった5人でアメリカの大統領まで伝わってしまうということです。恐ろしいことだと感じました。



現在、本校においても、ゲームのやり過ぎと思われる「朝から欠伸や授業中の居眠り」「体調不良や学業不振」、SNS上での友人関係のトラブルが報告されています。学校では、それらの悪影響について様々な機会を通じて指導を行っていますが、実際に使われているのは自宅や学校外であり、教員が監視することはできません。最終的な管理指導は保護者の皆さんが行うものと考えます。お子さんが何時まで、誰と、どのようなゲームやSNSをやっているのか、是非ご家庭で話題にしてください。不適切な使い方をしていようであれば、使用停止にしたり一時預かりにしたりするなどの対応をお願いします。トラブルや悪影響の未然防止のためにもよろしくをお願いします。

#### 数々の影響が心配されるオンラインゲーム「フォートナイト」

『フォートナイト』は、オンラインで100人まで戦え、最後の生き残りをかけて戦うバトルロイヤル系ゲームだ。近年、バトルロイヤル系ゲームは小中高生などの子どもの間で人気となっているが、トラブルが多発していることでもよく知られる。これらのゲームの多くは、ボイスチャットできる、つまり話しながらプレイできるという特徴がある。子どもの間でトラブルが多発し、問題が学校に持ち込まれる例は増えている。トラブルは、主に「子ども自身の暴言」「仲間はずれなどのいじめや人間関係トラブル」「高額課金」「長時間プレイなどの依存問題」「知らない人とプレイすることでの個人情報漏洩や出会い系被害」の5つに大別される。『フォートナイト』はCEROで15歳以上対象にレーティングされたゲームだ。15歳未満の子どもには、性表現系、暴力表現、反社会的行為表現系、言語・思想関連表現系で問題とされるという意味だ。年齢区分にはそれだけの意味があり、守ったほうが安心だ。それでもやりたい、やらせたいのであれば、保護者による見守りは必須と考えてほしい。

高橋暁子 成蹊大学客員教授

# 「CERO」とは



正式名称は「コンピュータエンターテインメントレーティング機構」といいます。ここでは家庭用ゲームソフトの映像をチェックし、ゲームソフトに含まれる表現の度合によって『全年齢対象』『12才以上対象』『15才以上対象』『18才以上対象』を4つに分ける等の審査をしています



※ 正式名称は「映倫管理委員会」



もちろんすべての家庭用ゲームソフトとしては、家で遊ぶのにふさわしい内容のゲームだけが販売されています

ただやっぱり高い年齢層向けのソフトっていうのは、その年齢にふさわしい表現が入ってますので、一番良いのは『年齢にあったゲームソフトを買うこと』だと思いますね

